

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1				時間により、人数が多く運動スペースが取れない時は運動のみ、小集団支援にするなどできるだけ余裕をもって活動できるようにしています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15			1	・先生も1~2人配置され、手厚いと思います	職員の人数が許す限りは、配置にも余裕を持たせています。専門的な知識は研修などで自己研鑽できるようにしています。	
	3 生活空間は、本所にイカダやプール、造られた環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14				1		その日の支援の見通しが持てるように、簡易プログラムを壁に掲示したり、注意散漫にならないようにできるだけ掲示物や物を隠すなどして配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1					掃除はもちろんのこと、安全面にも配慮してパーテーションなどは倒れないような工夫をしています。運動など動きが多い支援時は、できるだけ広い空間で体を動かせるようにしています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	15				・支援計画書の内容が分かりやすく、自宅でも参考になる内容です。	保護者の方のご要望、標準化されたアセスメントツール(太田stage)、発達検査、知能検査の結果や所見、指導員の情報を総合的にアセスメントして支援計画書を作成するようにしていますが、実際に支援が行われると見直すべき点が見えてくることもあります。その場合は、ご説明し更新前でも目標を修正していきます。今後も、分かりやすい支援計画を作成すべく努めてまいります。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14				1		個別支援計画書は、ガイドラインに準拠した支援内容で作成しています。家族支援として事業所内相談や地域支援として園見学などもご要望に応じて行っております。支援内容も例をあげて、できるだけ具体的に記載するようにしていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	1					個別支援計画書は、指導員にもわかりやすいように記載していますが、口頭でも具体的に説明し、全ての指導員が内容を把握して個別支援計画書に沿った支援が実施できるように努めてまいります。何か、支援報告で疑問に思われることがございましたら、改善いたしますのでお知らせください。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	14				1		利用者ができるだけ、活動プログラムに飽きずに常に、新鮮な気持ちで支援を受けられるようにしています。今後も職員全体で知恵を出し合い取り組んでまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				1	4		児童発達支援は1時間という限られた時間ですので、なかなか保育所等の交流は難しいです。その分、保育所等のインクルーシブな場所でもどのように障害のない子どもとの関りを持っているかなどを、保護者や園の先生から聞き取る、見学に伺うなどしていきます。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15						契約面談でご説明していますが、わかりにくかったこともあると思います。今後は、もう少しわかりやすく丁寧にご説明するよう意識してまいります。	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	15						個別支援計画書の説明時に、児童発達支援ガイドラインの支援内容を提示してのご説明はできておりませんでしたので、今後は提示してのご説明をしてまいります。	
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	12				3	・どのように子どもに関わっていくべきか、専門的な意見をわかりやすく、実践しやすく、とても丁寧に教えていただき、とても助けられています。いつもありがとうございます。	ペアレント・トレーニングは実施したことはありませんが、事業所内相談でペアレント・トレーニングの要点などをピンポイントでご説明したことはあります。他今年度は、外部講師の子育てセミナーで「遊びの発達、関わり方」「食と発達」について家族支援を行いました。他、ご要望のある保護者の方には外部講師による親面談を実施しております。今後も研鑽を積み、より専門的なご助言ができますよう努めてまいります。	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	1		1	お子様の様子で気になったことがあれば、随時、事業所内相談のお声がけをさせていただいております。他、外部講師による事例検討会を月1回程度行い、講師からのアドバイスを伝えさせていただいております。しかし、支援後は支援中の様子だけに終始してしまっているもので、気になることがございましたら、個別にお話をお伺いしますのでお声がけください。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15				必要に応じて、事業所内相談(面談)のお声がけはしていますが、ご要望があれば、できるだけ時間を確保して、お子様との関り方や、発達(知能)検査の見立てなどもお伝えさせていただきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	2	4	父母の会はございませんが、交流会と言う形で、保護者の方がお知り合いになる機会を今年度も検討させていただいております。「このような会を開いてほしい」といったご要望がありましたらお知らせください。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15				・子どもだけでなく、保護者の気持ちに寄り沿ってアドバイスをいただけるお陰で、心の支えになっております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14			1	毎回、お子様の支援内容と支援での様子はフィードバックさせていただいております。しかし、短時間ですので、お伝えしきれないことや、個人情報もございますので、改めて個別にお話をお伺いするようにしております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14			1	教室の活動内容をお知らせする「ハッピー新聞」を毎月、お渡ししております。さらにホームページにも掲載しております。自己評価の結果は保護者の方に発信しておりますが、年2回実施している避難訓練のお知らせを配布し、お子様にも伝えております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15				面談記録や検査結果などの個人情報が記載された書類は、職員以外には分からない場所に管理するようにしています。また、利用者、利用者の保護者の方についての情報は、職員以外がいる場所で話さないようにしています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。		1		1	基本、契約時にご説明する内容であるが、周知・説明できていなかったのが今後は周知するように努めていきます。発生を想定した訓練は防犯、感染症に関してはできていませんでしたので年1回は行います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15				毎年、火災と地震の非常災害に備えて、全利用者が訓練に参加できるように行っています。火災も地震も発生場所、規模など様々なケースを想定して行ってまいります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15				・エイビイシイひまわり教室に通うことを楽しみにしています。いつもありがとうございます。 ・あたたかく笑顔で先生が迎えて下さり、子ども本人がとても楽しみに安心して通所している。 お子様が楽しく通所できるのは、保護者の方が当事業所の方針についてご理解いただいていることが大きいと思っております。来所時に気持ちが乗らない時も、帰りには「ひまわりに来て良かった」と思っていたことが、次の支援につながると思っております。
	23	事業所の支援に満足しているか	15				ご満足いただける支援が提供できますように、十分なアセスメントを行います。また、目的に沿い、興味を持って取り組めるような支援を提供できますよう努めてまいります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

事業所職員向け 児童発達支援内自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	スペースは狭いと感じる。2分割だと適切に感じるが、3分割だと狭く、特に運動支援は活動が限定される為、適切ではない。部屋の面積を大きくして3分割にするか、面積を大きくできない場合は利用定員を2人までにするなど対策を行うべきである。
	2	職員の配置数は適切であるか		2	職員の体調不良で休みの時は、小集団支援にするなど柔軟に対応している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		伝達はされている。視覚過敏のお子さんは、周囲の物や掲示物などに意識が行きがちであるので、パーテーションで仕切るなど対応していく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	支援室の清掃・美化に努め、また安全面に配慮した支援を行うようにしている。特性の強いお子さんについては、活動に合わせた空間とは言い難い。玩具棚やカーテンが気になる子どもが多く、訓練室と別室に分け、訓練室は支援に使用する道具のみ置くようにできると良い空間になると捉える。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		振り返りをする時間的余裕がもう少しあると望ましい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		対応可能なことは、迅速に行っていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		毎年、保護者の方に自己評価表をお渡しし、ご記入いただいている。また、ホームページにも記載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		毎月3～4回は、外部アドバイザーによる研修の機会を確保している。その他、職員会議で毎回、支援の質向上の為の研修を行っている。時間数がもっと取れると望ましい。しかし、日々の業務が後回しになってしまうことが多く業務が詰まっているときは、自由参加にするなど、柔軟に対応できたらと思う。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		実際に支援を行ってみると、早く目標が達成されることや、少し難しい目標であることもある。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		太田stageの発達評価を取り入れている。他、アセスメントの資料としては、発達検査、知能検査の結果などをもとに把握している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		支援方法は、必要な項目を選択し、具体例もあげて「個別支援計画書」の支援内容の欄に記載している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		全ての支援において、個別支援計画書を基にプログラムを立案し、記録も個別支援計画書を基に記入している。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	基本、担当指導員が立案し、支援開始前に内容を説明し共有している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		ねらいは同じでも、利用者が飽きないように支援内容は工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成しているか	7		基本は個別支援の利用者でも、慣れてきたら適宜、運動などのタイミングで小集団支援を行うこともあるので、支援計画書にも反映している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		事前打ち合わせは必ず行っている。また、利用者への対応の留意事項についても伝達することもある。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		記録をしながらではあるが、気になったことや反省点、次回の対応策などを話すことはある。必ずという訳ではないが、職員間で報連相を行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		記録は必ずと取ることを徹底してる。その日の内にどうしても記入できない時は、翌日に記録するようにしている。検証、改善に繋がられるように努力していきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		半年に1度のモニタリング会議を行い、支援計画書の見直しをしている。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		1	障害児相談支援事業をご利用されている方は少ないですが、担当者の方と利用者の状況について相談したことはあります。会議に参画したことはないですが、必要に応じて参画してまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		ご希望に応じて、利用者の保育園に見学へ行き、園長先生や担任の先生と情報共有して、連携した支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	—	—	現在のところ、移行支援を希望された方がいない状況です。今後、ご希望される方がいましたら情報共有を行ってまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		年長児の保護者の方から移行支援シート記入のご依頼があれば、支援時の様子や配慮事項などを記入し、情報共有を図るようにしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		他の児童発達支援事業所と連携をしたことはないが、児童発達支援センターの方から、利用者の支援時の様子を聞いたことはあります。今後は他事業所とも連携を図るように努めている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	児童発達支援は、1時間単位の個別療育や集団療育が中心の為、交流する機会を持つことは難しいですが、ご要望が複数名あれば検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	—	—	該当なし
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		毎回、支援終了後に保護者の方に支援内容とお子様の様子をお伝えしています。発達状況や課題については、面談を通してお伝えし、共通理解を図るように今後も努めてまいります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7		ペアレント・トレーニングは、実施していませんが、外部講師による、「子育てセミナー」などで、お子様との関わり方をお伝えしました。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		契約面談時にお伝えしていますが、より丁寧に分かりやすいご説明を心がけてまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		1	個別支援計画書の説明時にガイドラインを示しながら行っていないので、今後はガイドラインに沿った計画書ということをお伝えしながら同意していただけるように努めていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		保護者の方からの相談は随時、事業所内相談として行っている。また、必要に応じてこちらからお声がけさせていただく予定。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	父母の会、保護者会は実施していないが、ご要望が複数あれば今後検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		できるだけ、早いうちにご対応させて頂くようにしている。今後も相談しやすい体制づくりと有効なご助言ができますよう努めていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		毎月、ハッピー新聞(事業所の活動をお知らせする)をお渡している。また、保護者向けのセミナーや懇親会なども今後企画していく予定。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		個人情報資料は鍵付き書庫等の安全な場所に保管すること、職員以外の第三者がいる場所では話をしないことは徹底しく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		言葉での意思疎通が難しい場合は、ジェスチャーや絵カードなどの代替手段で対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	現在の所、行っていない。事業所の特性上、難しいところである。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	避難訓練は実施している。防犯、感染症対応マニュアルは周知するよう努めいく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		毎年、火災と地震を想定した訓練を1週間、避難訓練期間とし行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		初回面談で健康面、身体面で把握する必要があることは確認させていただいている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	食事提供は実施していない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		ヒヤリハットが発生した場合は、会議の場で報告し全職員が意識して安全対策を行うようにしている。また記録にも残し、事例集として共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		運営規定に基づき毎月1回、虐待防止委員会が研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	1	契約時に止む負えない場合の身体拘束等のご説明はしている。